

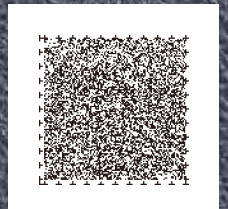
その人、 困っている かもしれません。

ヘルプマークは、人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見からは分からなくても配慮や手助けを必要としている方が身につけるマークです。誰もが暮らしやすい社会をつくるため、困っていないか気にかける、手伝えることがないか声をかけるなどのお気づかいをお願いします。



再生紙を使用しています

ヘルプマークは、お住まいの市町村、県障害福祉課、各保健福祉事務所等で配布しています。



ヘルプマークは、配慮や手助けを必要としている方が身につけるマークです。

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見からは分からなくても、配慮や手助けを必要としている方がいます。

そうした方々の存在を知っていただき、お互いに助け合いながら、誰もが安心して生活していけるよう、「ヘルプマーク」の普及に取り組んでいます。



電車・バスの中で、席をお譲りください。

外見では健康に見えても、疲れやすく立ち続けることが困難な方や、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からはそのような困難が分からないため、優先席に座っていると移動を促されることがあります。

駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。

お一人での外出時における突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

災害時には、安全に避難するための支援をお願いします。

視覚障害や聴覚障害等により周囲の状況把握が難しい方、肢体不自由等により自力での迅速な避難が困難な方がいます。

緊急時には、シールの記載内容をご確認ください。

ヘルプマークの片面に、緊急連絡先や障害の内容など、必要な情報を記載したシールを貼っている方がいます。どのような手助けが必要か分からない場合や緊急を要する場合は、シールの有無とその内容をご確認ください。

(配布場所)

お住まいの市町村福祉担当課、
宮城県保健福祉部障害福祉課、各保健福祉事務所 等

(問い合わせ先)

お住まいの市町村福祉担当課
または 宮城県保健福祉部障害福祉課 (022-211-2538)

